

令和5年第12回田原市教育委員会定例会

- 1 開会 令和5年12月15日 午後4時00分
- 2 閉会 令和5年12月15日 午後5時00分
- 3 会議に出席した委員
鈴木欽也教育長、太田孝雄教育長職務代理者、金田真也委員
高崎佐智江委員、田中早苗委員
- 4 会議に欠席した委員
- 5 会議に出席した職員
教育部長 増山禎之
教育総務課長 大羽浩和
学校教育課長 峠 尚良
生涯学習課長 藤井 透
スポーツ課長 鈴木雅也
文化財課長 天野敏規
図書館長 是住久美子
教育総務課長補佐兼係長 木村真一

議事日程

別紙のとおり

田原市教育委員会第12回定例会議事日程

日 時 令和5年12月15日（金）

午後4時00分

場 所 北庁舎3階 302会議室

1 会議録署名者の指名

2 教育長報告事項

3 報告事項

- （1）教育委員会連絡事項
- （2）田原市議会第4回定例会一般質問について
- （3）令和6年度小中学校入学式等儀式の実施日について
- （4）小中学校への寄附について

4 その他

教育長

開 会 午後 4 時 00 分

本日は、ご多用のところご出席くださいますありがとうございます。

ただいまの出席者は 5 名であります。定足数に達しておりますので、令和 5 年田原市教育委員会第 12 回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

教育長

それでは、会議規則第 13 条第 2 項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。今回の署名者として、太田委員と高崎委員のご両名を指名させていただきますのでよろしくお願いします。

教育長

それでは議題に先立ち、教育長報告を私からさせていただきます。教育委員会報告のページをご覧くださいと思います。

早いもので 12 月も半ばとなりました。年の瀬といいますが、年末になっているわけですが、何となくいろいろなことがあわただしく、そんなことを感じる時期になっているのかなというように思っております。

小中学校で言いますと、あと 1 週間で冬休みに入るということで、長かったような 2 学期もう終わりになるのかなと思っております。ただ、今週になってもまだインフルエンザによる学級閉鎖の報告が入ってきております。2 学期当初は、コロナもあったものですから、コロナとかインフルエンザとかそういったものがずっと 2 学期の間あったかと、今振り返ると思っております。学校のほうも対応する中で何とかここまで来られたのかなと思っております。

教育長メモに沿って、3 点に絞って今日は報告させていただきたいと思っております。

1 つ目ですが、今回も表敬訪問をたくさん受けることができました。小中高校生で 5 件、この期間内に表敬訪問に来てくれる子がおりました。主にスポーツの分野で活躍している子たちということで、頑張っている子たちが相変わらず活躍をしっかりとっていて、大変うれしく思っているわけですが、その中で 1 つ、ちょっといつもと違う表敬があったものですから、そのことをご紹介させていただきたいと思っております。

11 月 20 日の日に全国少年少女チャレンジ創造コンテスト、それに出場が決まりました田原市少年少女発明クラブの子たちが 6 名、これは 3 名 1 チームなものですから 2 チームが出られるということで報告にきてくれました。

田原市少年少女発明クラブは、毎月 1 回定期的に活動日を設けているのですが、それとは別に夏休みは割と時間がとれるものですから、

希望者だけを募って、こういったコンテストに出場するための作品づくりなどを集中的に行っております。その中で2グループが選ばれたということで、特に他の地域から見てもすごく頑張っているなということを感じました。

多角的なモノづくりということで、そのコンテストに出場する作品は、リモートコントローラーで連結車両のような形のものが基本になっているのですが、それをいろいろな動きであったり、アイデアをそこに盛り込んで作品を発表するというような、そういうものなのですが、2グループとも作品自体が渥美半島であったり田原市であったりの特産物であったり、名所であったり、そういったものを作品の中に盛り込んでPRするというような小学校5年生、6年生が組んでいるチームなのですが、そんな作品を作ってくれたものですから、私ともうれしく感じて、来たときも練習を兼ねて実際に動かしてくれて、プレゼン自体が審査の対象になるということで、子どもたちが一所懸命考えたところを、魅力を発信することをやってくれて、これはこれで学校外のことではあるのだけれども、子どもたちの中でも間違いなくふるさと教育の位置づけになるなということを感じた次第であります。

それから、学校教育とは別のところで、こうして子どもたちが様々な体験活動ができるという、こうしたものをこれからも大切にしていきたいなとそんなことを思った次第であります。

それから2つ目ですが、11月25日の日に小学校の音楽会が渥美文化ホールで開催されましたので、そちらに行ってみりました。小学校の部活動が今年度末をもって終わりということで、音楽会そのものも今回が最後でございます。最後ということで、自分も非常に注目して行きました。練習自体が以前のように時間をかけて行うというようなことが最近はなかなかできなくなっているものですから、以前のように競い合って質の良い演奏を披露すると、そういう会ではもう既になくなっております。ただ、子どもたちが日ごろから一所懸命練習した成果をいろいろ発表の仕方を工夫して、各学校が発表しておりました。

以前に比べて、肩の力が抜けていて、これはこれで小学生らしいとてもいい音楽会だなということを感じました。業後に今まで行われていた部活動というのがなくなっていくしますので、その辺りの子どもたちの生活が今後、どうなっていくのか、その辺りを少し注視して見ていく必要があるのかなと、そんなことを感じました。

それから3つ目です。

12月10日に田原市スポーツ少年団の大会が田原市総合体育館で行われましたので、その開会式に出てまいりました。市内の全てのスポーツ少年団が一堂に会して、表彰式や親睦会などを行う年2回の会であ

ります。スポーツ少年団というのが、スポーツを通して健全な青少年を育てるというそうした思想をずっと大切に引き継いでいる組織であります。先ほど申し上げました小学校の部活動がこれでなくなるということで、今まで以上にこうした地域の組織というのが大きな意味を持ってくるのかなと、そんなことも思いながら見させていただきました。ただ、こういったこれまでの部活動をそのまま受け皿になるというのも恐らく難しいと思います。こういったことに興味を持って、積極的参加する子たちは引き続きやっていけるとは思いますが、全体の子どもの数でいうと、参加している子の割合は決してそんなに高くないと思います。最近、スポーツ少年団に入る子たちも以前より少なくなっているということも伺っておりますし、それから指導者がなかなか継続してよい指導者がついていただくというのなかなか難しいと思っております。

こうした地域の活動というのは何とか今後もよい形で継続していただけるといいと思いますし、中学校の部活動が地域移行ということで、そちらはもう差し迫った問題なものですから、ずっと教育委員会のほうでも関わって動いてきているわけですが、小学校につきましては、中学校のように必ずなければならないということではないのですが、ただ、先ほども申し上げましたように、子どもたちが今まで部活動で活動していた時間帯というのが一応自由になっていくというようなこともあるものですから、子どもたちの生活全般が今後、どのように変わっていくのか、それによっては何かいろいろなことを考えていくという必要も出てくるかもしれない。そのような思いで少し見守っていく必要があるのかなと、そんなことを感じた次第でございます。

以上、私からの報告とさせていただきます。

何か、ご質問等がありましたら受けたいと思いますが、いかがでしょうか。

ご質問もないようですので、教育長報告事項を終わります。

続いて、報告事項に入ります。

では、教育委員の皆様方の連絡報告事項を順次お願いしたいと思います。

太田委員からお願いいたします。

よろしくお願いします。

11月18日に童浦小学校の学芸会へ、今年から童浦っ子発表会という名称に変えて新たな取組の会へ参加させていただきました。この11月18日、大変寒い日で午前中体育館に行われたわけですが、童浦の体育館も工事のために最後の学芸会だということを校長先生から話を聞きました。

太田委員

大規模校ですので、学年ごとに観客を入れ替えて行うということで、体育館のフロアに番号を振ってありまして、事前に保護者の方に抽選をして、指定席でそこに入るということで、大変スムーズな入れ替えで、幕間の時間もゆったり取ってあったものですから、保護者にとっては安心してゆっくり見られたと思いますが、私はずっと最初から最後まで見させていただいたものですから、個人的には、寒い中、少し長かったなというのが実感です。

名称もそうですけれども、内容も今までの学芸会的なもの、劇が中心の学芸会的なもの、それから日常の学習の発表会的なもの、と混ざったような、それは学年ごとでの取組で両方あったように思います。特に、6年生が広島を劇も交えて行ったわけですが、背景にスクリーンに画像を映して、大変その画像も工夫されていて、ちょうど今世界情勢もきな臭いようなそういう時期ですけれども、戦争、それから命等、タイムリーな主題で30分の内容でしたけれども、大変いい発表だったと思います。

それから、11月21日に校長会の懇親会に、これは夜の会ですけれども、4年ぶりで久しぶりで、大変貴重な懇親の場だったというように思います。なかなか校長先生方とゆっくりひざを交えてお話しする機会がなかったものですから、大変よかったなと思いました。

それから11月25日に市の小学校の音楽会に、午後から出席させていただきました。教育長のお話にありましたように、最後の音楽会ということでしたけれども、以前と同様、以前は金管が大変多くて金管の発表会のような形だったですけれども、太鼓があったり合奏があったり、いろいろな発表があつて、中身も大変すばらしい発表だったというように思います。各学校、いろいろな楽器を今、持っているものですから、今後、どのように保管したり処理していくかということが課題になるのではないかなと思います。

それ以外で、博物館のドナルドキーンさんと渡辺崋山の特別展に最終日に伺いまして、休日だったものですから、たいへんにぎやかでした。展示された資料が非常に多く、たくさん収集されているということ、それからドナルドキーンさんが渡辺崋山をはじめとして、日本の文化をいろいろな研究、幅広く深く、また多くの著名な方々との交流を持っているなということが展示物から分かりました。ドナルドキーンさんが日本語で手紙を書いて、その日本語の字も大変すばらしいなという、それだけやっぱり日本の文化、日本にたっぷり浸っているなということを感じました。

それからシェルマ吉胡で伊川津貝塚の犬の墓から見つかったアクセサリーをぜひ実物を見たいなと思って、そこにも足を運びまして、大変小さいもので、これを犬のアクセサリーと判断できる研究者のすば

らしさという、我々が見るだけでは何かその辺に落ちていても全然分かりませんけれども、こういうような判断を下すというところがすばらしいなというように思いました。

2階では、親子でクリスマスリースだとか、アクセサリーの製作などもやっていて、親子でなかよく作るいいなというのを思いました。

それから最後に、家庭の日のコンサートを田原市混声合唱団の第41回の定期演奏会に、これも個人的ですけども行かせていただいて、田原市音楽会で講師をされた尾崎先生が田原市混声合唱団の指揮をやってみえるということで、何人か団員の方の引継ぎがあったものですから、観させていただきました。20名弱の団員で、以前に比べると大変減ってきたのですけれども、また、年齢も高齢化していたのですけれども、熱意のある発表だったというように思います。アカペラあり、団員の好きな曲の演奏ありということで、私が一番感動したのは、大地讃頌がこれは中学校の卒業式で歌われる曲ですけども、本当に20名足らずですけども、大変迫力のある演奏で感動したことと、それから一緒に田原市楽友協会のジュニア教室の7名の子どもたちと、それから「歌の会るんるん」といってこれも高齢者の方々が一緒にコラボした演奏もあったのですが、本当にアットホームで会場も巻き込んで2時間足らずの時間でしたけれども、家庭の日にふさわしい温かいコンサートでよかったなというように思いました。

以上です。

教育長

ありがとうございました。

続いて金田委員をお願いします。

金田委員

11月18日に神戸小学校の学芸会に行ってまいりました。

太田委員が言うように童浦小学校と同じようなシステムだなと感じました。劇の内容もよかったのですけれども、運営方法がかなりよかったので、そちらを報告させていただきます。

まず、先ほど言いましたように観客をステージごとに入れ替えるために、様々な工夫がされているなと感じました。また、劇のスケジュールが決まっているというのと、保護者、観客席が指定席になっている童浦小学校と全く同じでした。劇を待っている保護者は、子どものステージ時間まで駐車場の車の中で待っておられる方が多かったです。また、ステージ意外の生徒は授業を受けていらっしやいました。指定席ということで、場所取りがなくてとてもスムーズでよかったのかなとそうに感じます。

担任が授業をやっていて手が離せない分、PTAの方たちが活躍されていました。駐車場係であったりとか、保護者のステージへの案内、そういったものをPTAの方がやっていて、コミュニティスクールを行ってなくてもこうやってすばらしい活動、支援を受けているのかなとそうに感じました。

教育長

高崎委員

ただ、担任の先生が全ていない分、教頭や教務主任の方がステージの準備だったりで、あわただしかったのかなとも感じました。

校長会が11月21日にあったのですけれども、改めて学校現場を指揮されている方たちと久しぶりに話ができて、とてもよかったなと思います。書面に目を通すだけでなく、現場を見たりとか話を聞いたりすることの必要性を感じさせていただきました。

11月25日は、音楽会、昼から参加させていただきました。

子どもたちが限られた時間で、よくここまで仕上げたのは感動いたしました。すばらしい音楽会がこれで終わりなの非常に残念に思いますが、新たな一步を踏み出すためには、必要なことにも感じました。

先ほど、教育長が言われたように、部活動がなくなった後の生活、今後の生活を注視してよりよい学校環境を作っていってほしいなどそのように感じます。

最後に、前回の定例会で天野館長さんのほうから、伊川津貝塚で縄文時代の犬の墓に装飾品が日本で初めて確認されたというのを聞いて感動させていただきました。

また、2か月ぐらい前ですけれども、ネットか何かで保美貝塚の屈強な骨というのが東京大学に展示されているということで、あの東京大学に渥美半島の屈強な骨が展示されるなんて、すごいなと思ったのと、渥美地区で縄文時代の犬の暮らしだったりとか、屈強な男たちの生活というのを想像するだけで結構わくわくさせていただきました。

自分からは以上です。

ありがとうございました。

続いて、高崎委員お願いします。

私は、11月18日、中部小学校、東部小学校の学習発表会、25日音楽会、そして22日、田原市総合計画会議に出席をさせていただきました。

中部小学校、東部小学校ともに、お待ちになっていらっしゃる父兄の方々は、列をなして外でお待ちになっていて、金田さんや太田先生がお話をされたとおりの、運営としてはどの学校もすばらしい運営をされていたなと思っておりますので、割愛させていただきます。

中部小学校については、インフルエンザで休校になっている学年がありましたので、そこが少し残念だったなと思うのですけれども、別件としてこの中部小学校を卒業して他市で、娘の同級生が先生になっていらっしゃるのですけれども、ちょうど中部小学校の先生の息子さんと一緒だったり、私の娘と一緒にだったり、こうして大人になって姪っ子さんを見に来たり、そして自分たちがやった崋山劇のことを話をしたりとか、こうして郷土愛といいますか、そういうものを感じまして、成長したなとすごくそういう部分でも感動させていただきました。ですので、学芸会は皆さんそれぞれめいっぱい一所懸命やっていたらよかったなと、こちらも感動いたしました。

東部小学校については、少しはしごをさせていただきましたので、最後の6年生の名作走れメロスを観劇させていただいて、やはり名作っていいなとすごく校長先生とお勉強になりましたので、名作のすばらしさ、もちろん中部小学校も衣笠小学校も、ずっと代々続くすばらしい劇もありますけれども、こうした名作も心を打つものだなと親御さんたちの顔から笑みもあふれていました。

そして、田原市総合計画会議は、何回かに渡って皆さんそれぞれの団体の代表の方がご意見をおっしゃるのですけれども、ようやく形になりまして、最後になって細やかなところに皆さん目が行くわけですが、愛知大学と技術科学大学の専門の先生がいらっしゃって、それで最終的に形になり、市長に無事渡すことができ、皆さんご満悦だったと思います。皆さんがそのときに一人一人お伝えするものですから、この教育委員会もそうですけれども、いかに行政の方が真剣に市民ために取り組んでいらっしゃるかということが、もっともっと一般の方に浸透していくといいなというのが私の考えです。

音楽会については、先ほども教育長さんがおっしゃいましたが、私は一番あるがままの子の姿、一人一人認められるというそういった感じを感じさせられ、これが本当の姿なのだろうなということをお見受けして感動しました。

あと1点、最後の講評でそこで、質問力をつけようというところで、やはりそのところに私自身も質問力が大事だなということをお子さんならず、自分自身も振り返ることができました。

別件になりますけれども、12月の頭に田原市のお茶の先生が東三河の方たちに対して、持ち番でお茶会を行うのですけれども、お手伝いをさせていただいて、今こうした先ほどの太田先生ではないですけれども、こうした日本文化は大切だなと思うのですが、やはりどちらかというと高齢の方が多くて、私になると若い部類に入りますが、着物で立ったり座ったりするものですから筋肉痛が出たりと、ですが、自分の中に得るものがあって、田原を代表するというか、田原のお菓子屋さんを先生が使われて、そして何よりも小宇宙の中のスティープジョブズも言っているこの禅のすばらしさということに触れることができたように思います。

長年続けていますけれども、こうした奥行きの深さというものをまだまだ分かっていって、これを少しでもお子さんたちに還元できるような人間になれたらいいなと思っています。

最後になりますが、昨日東三河法人会で田原市の小学生の絵葉書コンクールの審査に行かせていただきました。

市外の地域の私がここでも若い部類なものですから、どうしても絵葉書の提出が少なくなっているということで嘆いていらっしゃいましたけれども、私は私なりの意見でやはり学校側も教育改革をされてい

教育長

田中委員

るということをつけ加えさせていただいて、一番大事だなと思ったことは、例えばご婦人方は、学校に直接言いにくいとかおっしゃっていたので、そうではなくて、地域の方々と連携をして、ますます地域と学校と連携できていける、そういったような協力の在り方が必要ではないかなということは申し上げました。

最後になりますが、今、大谷翔平君がすごくテレビで話題になっています。先ほどのお茶会ではないですけれども、マンダラチャートの中に自分の願望実現だけではなく、人間としての在り方だったり、全てが総合的に大事だというようなことがあるのではないかなと、大谷君の今のニュースを見て思うものですから、今現在皆さんが学校教育も選択の自由がたくさんあるということは、すごく可能性もたくさんあるんだろうなということを大谷君のニュースを見ながら感じております。

以上です。

ありがとうございました。

最後に田中委員お願いします。

11月18日に大草小学校の学習発表会に行ってきました。

こちらは小規模校でしたので、入れ替えなどはなく地域の方、おじいちゃん、おばあちゃんや兄弟、保育園児みたいな、そういう家族みんなで見に行けて、とても広々といえますか、席にゆとりがある感じで、気軽に行けそうなそんな感じでした。

4、5年生の音楽部と各学年の発表がありました。発表では、劇の中にリコーダー演奏やダンスが取り入れられて、日ごろの学習の様子が見られました。ステージは舞台下も使われ、のびのびと動け、表現の幅が広がっているなと思います。

多くの学校で用いられていると思いますが、客席の最前列が学年優先席となっており、場所取りをしていない保護者の方も自分の子どもの学年を最前列で見られることができて、そこもいいと思います。

小規模校ならではの、一人一人が主役のように輝き、のびのび生き生き発表されていました。

11月21日に小中校長会懇親会に参加してきました。

4年ぶりということで心待ちにしていた感じがひしひしと伝わってきて、先生方がとても楽しそうでしたので、私もとても楽しかったです。普段の校長室や他の場所では見せないような顔が見られたと思います。

25日に田原市小学校音楽会午前の部に行ってきました。

各学校それぞれがそれぞれの発表の仕方で、8名で発表する学校があったり、41名で発表する学校があったり、バラエティーに富んでいるなと思いました。様々な楽器や合唱であったり、その学校一つで観劇を観たような感じになるような発表であったり、とても楽しませてい

教育長

教育部長

いただきました。今回は、最後の音楽会ということで、一層練習に力が入ったと思うのですが、体育館とは違った本格的なホールでの演奏は、普段の練習とは違って生涯心に残る経験ではないかなと思います。この晴れ舞台を保護者の方々にも、地域の方々にも観ていただきたかったなと思いました。

こういった経験は、とても貴重だと思うのです。私が小中学生のときは、あんな立派なホールでの発表ということがなかったので、うらやましいなと思いました。

以上です。

ありがとうございました。

次に、報告事項（２）「田原市議会第４回定例会一般質問について」事務局から報告をお願いします。

それでは、これは私から説明をさせていただきます。

資料がたくさんありますが、まず、１つ目が令和５年田原市議会第４回定例会提出議案等という一覧表がお手元に配付してございます。それから、一般質問一覧表ということで、一般質問の議員さんごとの通告書がつけてございます。

次に、令和５年第４回定例会真野尚功議員の一般質問をはじめ４名の議員さん方の一般質問を取りまとめた細かい資料ですが、それもついておりますので、計３点の資料になっていますので、ご確認をまずお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

それでは、まず令和５年田原市議会第４回定例会提出議案等から説明をさせていただきます。この資料ですが、第４回定例会で審議された議案等一覧表となっております。３ページをご確認ください。赤枠で囲ってあります１０１号と１０２号があるのですが、この１０１号と１０２号、こちらの１つが清田小学校の屋内運動場の長寿命化改修工事の請負契約の変更ということで、それと１０２号が令和５年度田原市一般会計補正予算、これが教育委員会関係の予算でございます。ただ、これにつきましては、両議案とも既に前回の教育委員会においてご説明させていただいておりますので、説明については、割愛させていただきます。

４ページを開いていただきたいのですが、４ページの下の方に議案数ということがございまして、最終日に追加議案が２つありまして、総議案数は２３件ございます。それぞれ人事案件２件、条例１４件、単行５件、補正が４件ということで、全てこれが本会議及び委員会の付託を経まして、可決いただいたことをご報告させていただきます。

それでは、今日の肝心な一般質問に移らせていただきます。

一般質問につきましては、１２月４日及び５日の両日に行われております。一般質問の一覧表をご覧いただきたいと思います。今回の質問

ですけど、9人の方からご質問いただいております。この一般質問一覧表の赤枠で囲まれた4つが教育委員会の関係の質問となっております。各質問については、3ページ以降の各議員の一般質問通告書で用意してございますので、これについては説明を省かせていただきます。確認を後ほどお願いいたします。

それでは、具体的に教育委員会に関係する4つの質問について、説明に移らせていただきますので、少し小さい字になりますが、令和5年第4回定例会真野尚功議員一般質問を少しめくっていただき、ご覧いただきたいと思います。順に説明をさせていただきます。

非常に多いものですから、私の方で質問については選ばせていただきますので、他のものについては後ほどご確認をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

まず、真野尚功議員ですけれども、大項目として休日部活動の地域移行の取組について、これは一問一答方式です。小項目が1点ございました。中学校における休日部活動の地域移行の取組についてということで、私が答弁しております。まずその下の質問の要旨でございますけれども、最初に初回ということで、中学校の休日部活動は、令和7年度から地域移行するということで、1つ飛びまして中学校における休日部活動の地域移行の取組について何うということで、初回の答弁の要旨として、まず1点目が休日部活動の取組ということで、休日部活動につきましては、現在活動回数を月2回までとしている。次のポツですけれども、令和7年度以降は休日部活動の活動はなくなることを予定していて、今後については生徒が地域で活動できる環境を整えていく必要がある。

次のポツに飛びます。本年度からは、地域活動団体コーディネーターを学校教育課に配置して、地域移行の環境整備を進めているということを答弁しております。地域移行の現状ということで、次に行きますけど、最初のポツですね、学校で行っている部活動をそのまま地域移行することは考えていない。名称につきましても、休日の活動として、今後中学生が参加可能なクラブ等を地域活動団体コーディネーターが取りまとめて連絡体制に取り組む、準備しているということです。

今後の取組ですけれども、休日の活動の選択肢を増やすとともに、実施可能な内容を持続できるよう条件整備を進めまして、地域移行がスムーズに進むように取り組んでいくということを1回目に答えております。2回目以降は、一問一答方式ですから、それぞれに回答しました。では、次の2ページをご覧いただきたいと思います。

少し飛ばしていただきまして、最初のQ&Aのところをご覧ください。生徒数の減少により、学校単位での部活動を維持が困難な場合もあるけれどもどうかという質問で、答えといたしまして運営可能な部

活動数や合同チームの編成を考えていく必要がある。次の行に移りまして、中学校区に捉われないクラブ運営や、生徒数等によって同じ種目のクラブの統合について、これは運営会議等の体制をつくり調整を行っていく必要がある。

Q & Aを2つ飛びまして、次のQ & Aですけれども、2つ飛んでください。中ほど休日部活動の地域移行について、生徒や保護者に対する周知について伺うということで、休日の部活動の地域移行については、令和3年度から各学校を通して周知を行っているところで、指導者の募集等を含め、引き続き入学説明会とか、市民への周知を行っていくということ答えております。

Q & Aを1つ飛びまして、地域スポーツ団体の各種大会への参加はどうか伺うということで、現在は学校の部活動としての参加しか認めていない大会もあるが、地域スポーツ団体の参加が認められる大会も増えている。各協会に対し、変更等を求めていきたいと答弁しております。

Q & Aを3つ飛ばして最後のQ & Aをご覧くださいと思います。今後、段階的な取組やスケジュールが重要であると考えてるが、どのように進めていくかと、これが真野議員さんが一番聞きたかったこととございます。現在、中学生が参加可能な団体の募集、指導者や活動場所の確保、条件や組織について、また、スケジュールについても検討している。令和6年度当初から計画的に取り組んでいきたいということを答えて、終了しました。

次に行かせていただきます。次は、3ページ目の内藤喜久枝議員さんです。

大項目といたしまして、赤羽根市民センター一帯の施設の方向性についてということで、これは一問一答方式でございます。小項目として、これも1点だけでした。赤羽根市民センター、赤羽根文化会館及び赤羽根図書館の方向性についてということで、これは企画部長が答えているのですが、2回目以降の答弁で私が答えているものですかから取り上げさせていただきました。

まず、こちらは関係しますので、質問の要旨と初回として、2つ目のポツですが、先日、赤羽根市民センターと赤羽根文化会館について、老朽化による取壊しを検討しているとの新聞報道があったけれども、今後はどうしていくのかということをお聞かせまして、企画部長の答弁の初回として、状況と取組ということで3つ目のポチをご覧ください。多くの施設が築30年以上経過し、大規模改修や建替えを考慮すると、全て維持していくことは非常に困難な状況であると。

次のポツでいくと、行政改革大綱の位置づけですとか、行政改革推進研究会での検討をしてきた。最後のポツで、平成28年には田原市の公共施設等総合管理計画を策定し、そこで20%削減を目標に掲げ、適

正化を進めてきたということをお答えしております。

今後でございますけれども、2つ目のボチを見ていただきたいと思います。

赤羽根市民センター庁舎と赤羽根図書館を含む赤羽根文化会館は、維持が困難な施設として取り壊す方向で検討している。

次のポツですけれども、赤羽根市民センターの市民窓口機能、赤羽根図書館での図書サービスは、赤羽根地域の暮らしや交流、学びの場として欠かせない機能であり維持していきたい。

次の、最後のポツで、今後も住民サービスの維持・向上に努め、市全体の公共施設の適正配置に取り組んでいくと答弁しております。

こちらの答弁ですが、次のページ4ページをご覧ください。アンダーラインの部分につきましては、私が答弁した部分でございます。アンダーラインの最初のところですが、文化ホールの機能はどうしていくのかということにつきましては、答えとして利用頻度が著しく少ない状況ですので、廃止する方向で検討しているということで、機能につきましては、市内の他の文化会館ですとか、各市民館での代行を検討していると答えております。

次のポツですけれども、廃止に向けて利用者の意見集約についてということで、こちらについては、公共施設については、個別施設計画を策定しているものですから、その検討の段階で社会教育審議会などで、関係団体の代表者等からご意見を伺っていると答えております。

利用者の周知はどのようにしていくのかということにつきましては、廃止が決まり次第、市広報やホームページ等での周知だとか、利用者のほうは計画的に使う方多いものですから、個別に調整していくということを答えております。

他のところについては、企画部長が答えているのですが、大事なことです。次のボチ、次のQ&Aです。

市民窓口機能と図書サービスは維持することだが、どのような施設にするのかということで、次の答えの後段の部分です。

施設については、市民窓口機能と図書サービスを併せ持つ、複合的な施設とすることを視野に入れ、手法について検討を始めていくというように答えております。

1つQ&Aを飛ばしていただきまして、検討段階において地域住民への説明をどうしていくのかということで、案ができた段階で、各市民館単位で説明する機会を設けることも検討していくということを答えております。

以上が主な内藤喜久枝さんの答弁の内容でございます。

次に、古川幸宏議員をご覧ください。

古川議員につきましては、5ページからですけれども、大項目といたしまして、アイアンマン 70.3 東三河ジャパン in 渥美半島につい

てということで、一問一答方式でいただいております。小項目1として、本年に開催された大会についてということで私が、来年以降については、企画部長が答弁しております。

最初の答弁といたしましては、質問要旨のところに初回と書いてあるんですけども、ここについては本年度開催された大会の経緯、目的、実施状況、評価について伺うということですが、経緯、目的、大会の実施状況については、これは後ほどご覧いただきたいと思いますので、次のページに飛んでいきたいと思います。

大会の評価でございますけれども、最初のポツの後段です。将来的に渥美半島の宝物になりそうという評価をいただいております。

次のポツです。参加選手からは、満足度評価において非常に高い評価を受けていると。しかしながら一方で、ボランティアの募集期間が十分にとれなかったとか、あと、ボランティアなど協力者の活動内容が不明瞭であった、交通規制など地域への情報提供が遅れた、コースのほとんどが田原市であったにもかかわらず、選手やその家族の宿泊先の多くが豊橋市であった、大会の盛り上がりがゴール地点に集中したなど、様々な課題もあったが、市民の皆様のご協力により、開催されたというのが評価として挙がっております。

2回目質疑の答弁ですけれども、こちらもポイントだけお願いしたいと思います。

まずは、2階目以降の質疑・答弁のQ&Aの5番目です。住民アンケートを実施すると伺っていたが、中止となった理由について伺うということにつきましては、交通規制や案内情報の周知方法などについて、具体的な対策が示されておらず、不十分な情報で市民の混乱を招くおそれがあったためと答えております。

肝心の次回からどうするのかということですが、企画部長の答弁で、初回については、来年以降についてどのような考えであるのか伺うということで、来年以降については、最初のポツの初めの実行委員会により決定されることが前提となっています。

1つポツを飛ばしていきまして、主催者から今年と同時期で開催したいということを受けており、来年以降も継続的、発展的な大会が開催されたいということ望んでいる。

また、次のポツの地域住民の皆様をはじめとした関係者の協力で開催ができるということをお答えしております。

次の7ページの上段、一番上に行きまして、多くの市民が大会の効果を実感できるイベント等の環境整備や、迂回路の設定、警備員の配置など、地域の事情への配慮が不可欠ということも答えております。

次の2回目以降の質疑・答弁ですけれども、次回の開催はどんなコースかということで、財団からは今年実施したコースを活用したいという意向は受けているということです。

それから、2番目の質問で、その場合に課題はどうやって解決していくのかということで、いろいろ書いてあるのですが、最後のところに集約されています、地域の要望には主催者と連携して可能な限り対応していきたいということを答えております。

最後のQ&Aをご覧くださいと思います。

来年度以降も継続的な大会にするには、市民への説明や意見を聞く場を設けるよう働きかける考えはどうかということに対しては、主催者には、しっかりと説明会などを開催していただくよう働きかけていきたい。そして、市も協力していきたいということを丁寧にしていきたいということを答えて、この質問については終わっております。

次に、小川貴夫議員の質問に移らせていただきます。

小川貴夫議員につきましては、大項目といたしまして、連携型中高一貫教育の取組について一問一答方式、小項目としては、福江高等学校と福江中学校における連携型中高一貫教育の取組についてということで質問をいただいております。

これについては、連携型中高一貫教育ということで、高校が主体になっているものですから、どうしても答弁としては明確ではない部分もありますので、初回の質問としては、2つ目のポツで、福江高等学校と福江中学校における連携型の取組と課題はどうかということで、取組といたしましては、2つ目のポツに移っていただきたいと思います。

この連携については、福江高等学校を中心に、田原市の中高一貫教育推進委員会が設けられ、その下に教育課程部会、交流部会、地域連携部会の3つの部会が置かれていると答えております。それぞれそれぞれ、3つの部会については、教育部会では、交流部会では、地域部会ではと、それぞれ個々の部会の説明をしております。

課題ですけれども、どんな課題があるかについては、中学校と高等学校では年間行事計画とか、日課表が異なっているものですから、また、交流等の調整が困難である場合や、生徒、教師の移動に時間を要する等が挙げられています。そして、教育委員会としては、交流のための交通費等を確保するなど支援、また、引続き持続可能な取組となるよう連携していくということをお答えております。

2回目の質疑については、詳しくはご覧いただきたいと思います。直接、市に関係していない部分もあるものですから、それぞれ小川議員については、自分のお考えで9つ聞かれまして、9つ回答しております。次に3回目の質疑ということですが、先ほど申し上げましたとおり、中高連携一貫教育というのは、高校が中心となって、市はそれについていわゆるサポートを行っているものですから、そういうことも踏まえのご答弁であります。3回目の質疑につきましては、ご覧いただければと思いますので、もしこれについてご質問等ありま

	したら後ほど確認をいただければと思います。 今回は非常に多くの質問を、多くの議員の方からいただきましたので、関係の部課長には、特に課長には非常に苦勞してしっかり答弁を作成していただきました。 以上です。
教育長	ただいまの事務局の報告について、何かご質問等ございますでしょうか。 では、ご質問もないようですので、次に（３）「令和６年度小中学校入学式等儀式の実施日について」、事務局から報告をお願いします。
学校教育課長	既に、各小中学校には連絡しておりますが、来年度の入学式、始業式、終業式それから卒業式の日程でございます。
教育長	また、給食開始、給食の予定も載せさせていただいております。 ただいま事務局の説明がありました。 何か、ご質問等ございますでしょうか。 ご質問もないようですので、次に（４）「小中学校への寄附について」事務局から報告をお願いします。
教育総務課長	それでは、その次の資料になるかと思います。令和５年度教育関係寄附一覧表ということで、今回２件新たに寄附をいただいております。 表の13番目でございます。石川 勝さんから12月４日に市内の小中学校教育の充実のためにということで1,000万円いただいております。 その２個上ですね、前回、10月のところと同じお名前があるのが確認できるかと思いますけど、泉校区出身で、東京で会社を經營されている方で、今回は市内全体の教育にということで新たに1,000万円をいただいております。また、有効に活用させていただきたいと思っております。 もう１点、14番目をご覧いただきたいと思います。 12月12日に愛知みなみ農業協同組合から市内の18の小学校のためにという形で傘を1,000本いただいております。 このような形で1,000本いただきましたので、各小学校に50本ずつ、大規模校の童浦小学校と中部小学校には100本ずつという形で配布して、使い方は各学校にお任せするという形で配置したいと思っております。
教育長	以上２件、寄附のご紹介でございました。 ただいま事務局の説明が終わりました。 ご質問等ございますでしょうか。
田中委員 教育総務課長	J Aさんのこの傘は、毎年寄附いただいているのですか。 遡りますと、J Aが統合してからは初めてのようです。統合前に旧J A渥美の時代のときに、渥美地域の学校にはこのような寄附があったということを聞いております。
田中委員	ありがとうございます。

教育長

その他ご質問ございますでしょうか。
ないようですので、以上で報告事項を終わります。

教育長

教育総務課長

次にその他ですが、事務局から何かございませんか。
それでは、すみません。その次の資料で日程表がございます。お願いしたいと思います。

最初に委員さんが直接関係する日程表でございます。本日第12回の定例会が終わりまして、1月に多くの行事があるものですから、大変恐縮けれども、お願いいたします。

まず1月7日に二十歳の集いが10時から総合体育館で行われます。

翌週13日は、田原市小中学校PTA連絡協議会研究発表会、教育講演会が13時30分から田原文化会館文化ホールで行いますのでお願いしたいと思います。

翌々日の16日ですが、1月第1回の定例会を行います。場所は、300会議室でございますので、こちらからもう少し向こうの部屋になりまして、3階のこのフロアの南側になります。この日ですが、定例会を13時30分から行いまして、そして終わり次第15時30分ぐらいから、太田委員さんには申し訳ございませんが、奨学金の選考委員会を行いますので、ご出席の方をお願いしたいと思います。

25日につきましては、東三河の関係でございます。教育委員代表者会議がこざかい葵風館で行われます。終わりまして、15時30分から今度は研修会がございますので、皆さんのご出席をお願いしたいと思います。

最後、1月の最後ですけど、30日に昆山市との友好都市提携30周年の記念給食を行います。教育長は別の会議で不在でございますので、太田委員さんにつきましては、衣笠小学校での記念給食をお願いしたいと思います。

教育総務課長

ありがとうございます。

2月以降については、表彰選考会、また、第2回の定例会、そのときに合わせて総合教育会議を行います。このような日程になりますので、また、詳細が決まりましたら来月の委員会時にご説明をしたいと思います。

また、3月27日に教育委員会表彰がございます。ここには記載がございませんけど、3月29日には教育委員会臨時会を予定しております。併せて退職辞令交付式があり、4月1日には任用等の辞令交付式がございますので、記載してございませんけど、ご予定をお願いしたいと思います。

裏面につきましては、教育関連イベントでございます。関連する説明等がございましたら各課長でお願いしたいと思います。

以上で、私のほうから報告とさせていただきます。

教育長

各課長から関連イベントの説明はよかったですかね。

ただいまの説明につきまして、何か委員さんからご質問がありましたらお願いします。

たくさん出ていただくことになりますけど、よろしくお願いします。

その他、事務局からということで、図書館お願いします。

図書館長

たはらとL e a fの12月号、1月号を配付させていただきました。後ろの方を書いてあるのですが、中央図書館が空調工事を行っておりまして、2月に本格的に集中的な工事を行いますので、2月1日から23日まで臨時休館をさせていただくことにしております。

休館中は、予約を事前にさせていただいた資料はお受け取りいただけるという予定にしております。よろしくお願いいたします。

教育長

これについてよろしかったでしょうか。

事務局でその他ありますでしょうか。

それでは、委員さんから何かありましたらお願いします。

では、特にないようですので、以上で本日の議事は全て終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

これをもちまして、田原市教育委員会第12回定例会を閉会とさせていただきます。

ありがとうございました。

閉 会 午後17時00分

教育長

委員

委員